

重点目標一覧表

【平成26年度重点目標】

【平成27年度重点目標】

重点目標	健(康)幸(福)都市を目指した健康づくり事業の推進		重点目標		
	具体的な重点取組項目(箇条書き)	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目(箇条書き)	期限・数値目標等
1	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング事業の推進 科学的根拠に基づいた健康づくり事業の研究 ひとまちげんき・健康プラザうえだや各地域の保健センター、あいそめの湯等を活用した健康づくり事業の推進 青年期(18歳～39歳)における食育の推進 特定健康診査及び各種検診の受診率の向上 こころの健康づくりの推進 	<p>「健康幸せづくりプロジェクト」として、インターバル速歩の継続者支援、ウォーキング普及方法を関係団体と協議、27年度以降のウォーキング事業の計画立案を実施</p> <p>健康プラザの健康づくり講座参加者は6,564人(25年度3,775人、前年比1.74倍)</p> <p>温泉施設でリラクゼーションを含めた体験型の運動講座(あいそめの湯、クアハウス)</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年期を対象に公民館と連携し、食の講座を実施(夜間2回40名) 定時制の高校生を対象にした食講座の実施1校 未受診者訪問の実施 約900人(H25 350人) ゲートキーパー研修(471名) こころの健康健康教育(122名) こころの健康づくり講演会(11/29) 自殺予防関係者会議1回 自殺未遂者対策として精神科医療機関に相談窓口記載カード配布 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療体制の整備 内科・小児科初期救急センターの運営と周知 深夜等初期救急患者受入体制の整備 病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援 医師等の安定的な確保体制の構築 上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施 信州上田医療センターの医師確保 地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨 新型インフルエンザ等対策行動計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日付広報うえだにて利用周知 輪番病院での受入体制を継続 広域連合による二次救急医療機関への支援、救急医療体制の整備 新規4人貸与 研修資金貸与者の同センター勤務・分娩の再開に繋がる 信州上田医療センターの医師確保事業に関する協定締結(同センター、信州大学医学部附属病院、上田地域広域連合、地域内市町村) 新たに信大から4人、埼玉医大から1人の常勤医師が同センターに派遣 市役所本庁舎、各地域自治センター窓口等で医療の仕組みに関する冊子の配布 健康教室、健康相談、特定健診結果説明会での活用 有事の際の予防接種(住民接種)の実施体制について、上田市医師会及び小県医師会と検討 			
3	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な医療の提供及び地域の周産期医療の推進 医療スタッフの確保 信州上田医療センターとの役割分担と連携の構築 ニーズに応える病院運営と上質なサービスの提供 婦人科の良性疾患等、地域の要望に沿うための準備と幅広い対応 患者のニーズの把握と改善(各部門毎) 母乳育児の推進強化(BFH認定の継続) スタッフ研修の充実 研修会、学習会、院内会議等の定期的実施 	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤医師の雇用による常勤換算3人確保 看護スタッフ正規2名確保 信州上田医療センターの分娩再開後における役割分担を明確化 26実績 産科外来紹介45件 母体搬送15件 小児科との連携167件 検査科との連携106件 婦人科良性疾患手術について年度内に2件を実施 給食アンケートを実施し、給食提供時間の変更をした。 退院時母乳育児率対前年比2.4%UP 院内会議月1回開催年12回、管理会議毎週開催年48回、医療諮問会議毎週水曜日開催 看護スタッフ研修年間22回、母乳育児院内研修会2回(5月、12月)、外部研修への参加15件 			

評価基準 [] : 目標を上回る達成 [] : 目標どおり達成 [] : 目標未達成の部分あり [×] : 全て目標未達成

市長指示事項	市長指示事項
<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の受診率については、一層向上するよう工夫を凝らし効果的な施策を講じること。 健幸都市づくりについては、様々な手法を検討し、その実現に向けて取り組むこと。 	